

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス まつぱっくりハウス		
○保護者評価実施期間	令和7年1月15日 ~ 令和7年2月15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 17
○従業員評価実施期間	令和7年2月1日 ~ 令和7年2月28日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達一人一人の個性を大切に、こだわりを認めて、寄り添いながら家庭や学校や職員と力を合わせて支援しております。保育士、教員免許、介護福祉士等資格を持った職員も多く、長く勤務しております。配置基準も満たし、余裕を持って安全に配慮した支援を行っております。	児童発達管理責任者、保育士、児童指導員、介護福祉士などで、できる限り話し合う機会を設けている。障がいの特性に応じた専門支援実施計画を作成して、5領域をふまえた支援を心がけて、情報共有が行えるようにしている。	現在は、男性スタッフが少ないため、支援の充実を図るため、雇用を進めていきたい。
2	保護者や子供達との連携やコミュニケーションがとれている。	日々の子どもの様子を提供実施記録(連絡帳)および送迎時に細かくお伝えしたり、モニタリング時や来所時やサービス担当者会議等で情報共有を行うことで、職員と保護者との信頼関係を深めています。	より一層連携を深めていきたい。
3	子ども達が、毎日、安心して楽しく活動でき、安心して預けていただけるように支援しております。	生活空間において、安全面や衛生面においては、十分に気をつけて、毎月の活動計画に従い、その日の行事や活動内容に合わせて配慮を行っております。	子ども達や保護者の方が、安心してご利用できるように、障がいの特性により、様々な場面を想定しながら支援できるように努めてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会などの設置がされていないため、保護者間の活動の場がなくて交流ができてない。	保護者の多くは、仕事をしていて、それぞれの時間が合わないこともあり、開催が難しいと考えていました。	今後、保護者のニーズをお聞きし、必要に応じて交流会を開催していくことも考えていくことも必要だと感じております。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や地域の子どもの交流や地域住民を招待することはできておりません。	放課後決まった時間のご利用のため、地域の子供達との交流や地域住民の声かけは難しいと考えていました。	子ども達やご家族のご意見をお聞きしながら、地域の方や子供たち等、様々な人がお互いに尊重しあい、それぞれの特性を生かして活躍できるように交流の場を設けることも必要だと考えております。
3	事業所の設備で、玄関のところが、バリアフリー化ができていない箇所がある。	建物の構造上、バリアフリー化の設備になっておらずに、玄関が階段で手すりをつけたり、スロープで対応して安全対策を行っております。	できる限り、室内でも視覚的にわかりやすいように配慮して段差をなくすように改善を行い、安全な環境を整えたい。